

山鹿市教育委員会学校教育支援員（3名）による小中学校訪問の実施と授業参観、授業力向上のための個別面談を行う取組 ～ 山鹿市教育委員会～

学校管理職と支援員が話し合い、教員の授業力向上を目指した授業参観及び個別面談を実施している。学習規律から指導内容、授業の流れ等についてアドバイスをを行っている。

【学校教育支援員からのアドバイスシート】

【3年1組 社会】



1分前には係の生徒が2人前に出て号令をかけて黙想をしていた。全ての教科で全校統一しての取り組みをされていて、良く定着化されている。



始めのあいさつ後、まず問題プリントを6分間で解かせられた。進学用のテキスト付属の問題集から地理の問題であった。自己採点して回収された。



10分後に前時の復習から、「対立から合意」に至るには「効率と公正」が必要を押さえて、今日の課題「3つの部活の体育館使用計画」を提示された。



まず、各自で8分間考えさせてロイロノートに書かせられた。そして、縦2列を1班（同じ部活）として、キャプテンに意見をまとめさせられた。



キャプテンがロイロノートにまとめて提出し、各班の結果を発表させられた。次に、部活をもう一つ増やして、同様に使用計画を班で話し合わせられた。



これもキャプテンが提出して、全体で発表した。最後の5分で、「まとめ」として「課題解決に向けて気をつけたこと」について書かせて提出させられた。

教師一人一人の授業力向上は教師の意識改革が不可欠です。「教える」から「子供が自ら学ぶ」への転換を目指して、先生方の良さを生かしつつ、やる気が出るような助言を行っています。

また、学校教育支援員の気付きを個別面談で直接授業者へ伝えることで、授業者も次の授業に生かすことができています。

さらに、授業準備や児童生徒との関係づくりなど、悩み等に対しても意見交換ができています。新たな視点のアドバイスを継続的に行うことで、教員の授業力が確実にアップしています。同時に管理職への報告も行い、指導・助言の内容を共有しています。

柱2 「授業観察の習慣化」実践例

校長が授業評価シートを基に授業の評価を行い、授業者と共有して指導助言を実施する取組

～八代市立八代小学校～

校長による授業参観を日常的に行うとともに、各教員同士で学期に1回程度「見に（ミニ）来てね！授業」として相互の授業公開を実施している。授業後に校長から授業評価シートを受け取り、授業の省察を行う。

【授業評価シート記入例】

見に（ミニ）来てね！授業		国語：「おおきなかぶ」
令和3年6月24日（木）		授業者： 担任 ○○ ○○
視点1 子供の問いや思いを引き出す「話題提示」の工夫		
<p>単元を貫く言語活動として「おんどくげきをしよう」を設定され、それをもとに単元構成と各時間のめあてを設定されていたことは良かったと思います。単元のめあてを掲示し、常に各時間のめあての必然性を確かめることが出来れば良かったと思います。</p>		
視点2 子供が学びを高める「学び合い」の工夫		
<p>動作化は、登場人物の言動を追いながら登場人物の気持ちを疑似体験させる効果的な手法だと思います。国語としては、文章の表現を適切に反映されているかどうかを常に検証する必要があります。その上で、その時の気持ちを考えさせることが大切です。</p> <p>協働的な学びにおいて、友達の考えを共有するためには、児童の発表した内容を、全員に共有しやすいように焦点化させることが大切です。板書構成を考えて意図的な指名も考えてみてください。</p> <p>また、国語科の視点を踏まえて、「とうとう」をクローズアップされたのは良かったです。このようなやりとりの中で新出語句や重要語句のイメージを膨らませてください。</p>		
視点3 子供の学びをつなぐ「評価」の工夫		
<p>まとめにおいて、本時のめあてに立ち返って「ようう」を思い起こさせたのは良かったと思います。できれば、「うれしい気持ちを表すためには、どのような読み方にしようか？」まで踏み込んだ、めあてとまとめでも面白かったかもしれません。</p>		

職員同士の相互参観授業を定期的に（学期に1回程度）位置付けています。互いに授業を見せ合うことで、学び合い、共に授業を改善していこうとする学校風土が醸成されます。

また、校長が授業を参観して、校内研究の視点に沿った内容で授業評価シートを作成します。授業後に授業評価シートを授業者に返すことで、授業者は校内研究の視点に沿った授業改善を図る省察を行うことができます。

柱2 【授業観察の習慣化】実践例

教員採用2年目・3年目の教員の授業について、本校配置のスーパーティーチャーが定期的に参観し、それに基づく指導・助言を行う取組
～水俣市立水俣第一小学校～

授業者がスーパーティーチャーと共に、「熊本の学び推進プラン」にある単元デザインの手順に沿って単元計画を作成し、スーパーティーチャーが週1回授業を参観し、具体的な授業場面を振り返りながら放課後に指導・助言を行っている。



身に付けさせたい資質・能力の育成に向けて設定された校内研修テーマとともに、研究の視点に沿った授業の実現を目指します。教材研究を行い、単元をデザインし、具体的な手立てを考え、よりよい授業づくりに向けて取り組んでいます。

児童への接し方や、意見の引き出し方、整理の仕方、ICT機器を含めた教材教具の効果的な使い方について等、具体的に助言し、実践につなげられるようにしています。

時には研修テーマ以外のこと、例えば日々の実践の中から生まれる悩みやチャレンジしたいことについても、指導・助言を行っています。

柱2 【授業観察の習慣化】実践例

管理職による授業観察での気づきを、教職員向けの校長室だよりで全教職員に広げる取組

～上天草市立今津小学校～

さらなる高みへ！
「虹を架ける」
～今津小学校 校長室だより(先生向け)～
令和3年11月8日
第35号
上天草市立今津小学校
文責：緒方 義弘

授業充実～部門別研修会～

11月2日の部門別研修会、本校では、5年生と6年生の公開授業を□□先生と□□先生に実施していただきました。

5年生は算数の授業で、平均の求め方に関連した「平均の利用」という実生活に繋がる大切で難しい学習です。しかし、問題を提示された後、子どもたちはすぐに食いつき、補助発問を通して課題が明確になり、とても意欲的に思考を巡らせて自分の考えをノートに書いていました。その後の発表や高め合いも自分の考えを筋道立てて発言することができていました。最後の適用問題や振り返りまで全員の高い意欲が続き、子どもたちも参観者の先生方も時間を短く感じたことだと思います。

6年生は国語の授業で、難解な単元の1つでもある「やまなし」の学習でした。宮沢賢治が「やまなし」という題名を付けた理由について自分の考えを書くというめあてで学習が展開されました。真剣に向き合っている自分の考えを書き、グループで深め合い、全体で出した後にさらに自分の考えを振り返っていました。45分間誰一人気持が離れることなく、これまで学習してきたやまなしの世界を振り返りながら考える姿がとて素晴らしかったです。

週1回発行の教員向けの校長室だよりで、周知・徹底事項の連絡や学校行事等での児童・教職員の様子についての感想等と併せて、授業観察での気づきが教職員に報道されている。

1単位時間の導入・展開・終末の各場面での児童の反応とその反応を引き出した「課題設定・学習活動・発問」等の教員の手立てについて、「認め、ほめ、励まし、伸ばす」姿勢で授業での気づきが記載されています。授業者個人への助言だけでなく、校長室だよりとして紹介することで共通実践につながっています。

また、児童の様子から教員の手立てを振り返ることで、子供の「学び」に視点を転換し、「子供たちの学びの側」からの授業改善につなげています。

「【天草版】8つのチェックリスト」による授業観察と指導・助言 ～天草教育事務所～

管内の状況を踏まえ、「7つのチェックリスト」を基に「定着確認の場の設定」「人権が尊重される授業づくりの視点を学習構想案に位置付け」について整理・追加した「【天草版】8つのチェックリスト」を作成し、授業力向上に向け活用している。

「熊本の学び」授業実践の 8 つのチェックリスト(天草版)				
番号	観 点	チェックリスト	授 業 参 観 で の 気 づ き	
		子供の姿	良かった点	改善が必要な点
1	日常	互いに失敗や間違いを認めたり、考えの違いを大切にしたりしている。	例 一人一人の良い点や可能性を認め、ほめ、励ます 等	
2	単元	単元終了時の姿を共有している。	例 どんなことが分かり、できるようになったらいいの、か、実生活や次の学びにどう生かすかを具体的にイメージした指導等	
3	単元	ゴールの姿	例 ゴール後の姿を実現させるための学習課題や学習活動 等	
4	導入	「なぜ」「おそろく」等、疑問を持ったり予想したりして学習に取り組んでいる。	例 言葉かけ、教材提示、学習課題等の問いを引き出す工夫	
5	展開	「やってみよう」「なるほど」「きっと」等、挑戦したり納得したりして学習に取り組んでいる。	例 一人学びの場面と協働解決場面の組立や対話や協働場面での働きかけ 等	
6	時間	「分かった」「できた」「もっとやってみよう」等、実感や達成感を得たり更なる意欲を高めたりして学習に取り組んでいる。	例 「めあて」や「学習評価」との整合性、適用問題の実施 等	
7	基礎基本の定着	自分の習熟度に合った課題などに取り組んでいる。 (指導者が) これまでに何を学んだ・本時は何を学んだ・何が分かったかを確認する場の設定をしている。	例 児童生徒の実態を踏まえた指導 (補充的な学習や発展的な学習など) 例 既習事項の確認・振り返り (本時に活用する既習事項の確認、振り返りの視点)	
8	3つのキーワード	構想案に位置付けがあり、具体的な取組が見られる。	自己決定 自己存在感 共感的人間関係	
※	ICTの活用	ICTの活用により、学ぶ意欲が高まったり、学習の理解を深めたりしている。	例 効果的な場面で目的に応じたICTの活用	
※	板書の工夫	板書を基に学習の流れを振り返っている。	例 学習過程が分かるように整理された板書の工夫	
()月()日()曜日()校時		<メモ>		
()年()組 教科等名()				
授業者氏名〔 〕		記入者： 氏名〔 〕		

7 基礎基本の確実な定着

(指導者が) これまでに何を学んだ・本時は何を学んだ・何が分かったかを確認する場の設定をしている。

8 3つのキーワード

学習構想案に位置付けがあり、具体的な取組が見られる。(「自己決定」「自己存在感」「共感的人間関係」)



天草教育事務所HPからダウンロードできます→

教育事務所による学校訪問指導等での活用に加えて、市町教育委員会と各学校へ配付し、教育委員会での指導力向上事業や管理職による授業観察等でも活用いただいています。

教育事務所と市町教育委員会、学校の三者で視点をそろえて、「熊本の学び」における授業づくりを推進しています。